

急な坂スタジオ（旧老松会館）運営団体の公募結果について

急な坂スタジオ(旧老松会館)の次期運営団体について、舞台芸術を中心とした創造的な活動に加え、地域・市民に開かれた場所とするため、新たに「クリエイティブ・チルドレン」に資する活動を実施する拠点として公募を実施しました。

その結果、3団体から応募があり、本市附属機関(創造界限形成推進委員会)による選考を経て、「特定非営利活動法人アートプラットフォーム」を次期(平成29年4月1日から平成34年3月31日)運営団体として決定しました。

1 選考経過(予定を含む)

平成28年	4月8日(金)	公募要項の公表
	7月11日(月)～12日(火)	応募申込受付(3団体)
	8月25日(木)	一次審査(創造界限形成推進委員会)
	10月7日(金)	二次審査(創造界限形成推進委員会)
	11月14日(月)	選考結果の公表
	12月～平成29年 3月	開館準備
平成29年	4月1日～	次期運営団体の運営開始

※次期運営団体の運営開始にあたり、普通財産の無償貸付を行います。

2 次期運営団体

名称 : 特定非営利活動法人アートプラットフォーム

所在 : 横浜市西区老松町26番地の1

主な事業 : 「急な坂スタジオ」の管理・運営、舞台芸術に携わる人材の育成や国際交流の推進等

3 審査講評(運営団体選考報告書より)

- 現運営団体として、10年間の運営実績、横浜市の「創造都市」の考え方への理解があり、今までの運営を踏まえた改善が見られる
- 支援するアーティストと連携したワークショップを行うなど、「クリエイティブ・チルドレン」に資する新しい自主事業に取り組む点が評価できる
- 総合的にバランスが取れており、横浜の舞台芸術のプラットフォームとして、非常に期待できる

4 実施される事業(予定)

- 稽古場としての貸館事業
- 舞台芸術界をけん引し、積極的に活動を行っている「レジデントアーティスト」、次代を担う若手の「サポートアーティスト」(各2年契約)に対する活動支援
- 小中学生を対象とし、自分でオリジナルプログラムを組み、より自発的・能動的に参加できる、演劇やダンスのワークショップの実施
- 高校生を対象とし、年間を通して創作から発表までを体験する実践型ワークショップの実施

【参考】

●施設概要

所在地	横浜市西区老松町 26 番地の 1
構造等	鉄骨鉄筋コンクリート造
運営対象面積	1 階 937.74 m ² 2 階 560.75 m ² 合計 1498.49 m ²



<建物外観>



<1階：スタジオ1>



<2階：ホール>

●選考委員（創造界隈形成推進委員会分科会（五十音順・敬称略））

恵志 美奈子（世田谷パブリックシアター 劇場部学芸）

恵良 隆二（横浜市立大学 非常勤講師）

大月 ヒロ子（有限会社アイデア 代表取締役）

久野 敦子（(公財)セゾン文化財団 プログラム・ディレクター）※議長

簗谷 則美（(株)ミノヤアソシエイツ 代表取締役）

●これまでの経緯

平成 5 年	市営結婚式場として、老松会館オープン
平成 16 年	結婚式場業務を廃止
平成 17 年	閉館
平成 18 年	公募により NPO 法人アートネットワーク・ジャパンと ST スポットが「急な坂スタジオ」として運営を開始
平成 19 年	運営団体の 2 団体が共同で新しく NPO 法人アートプラットフォームを設立し、運営を開始
平成 24 年	公募により NPO 法人アートプラットフォームが運営を開始